

対応インクタンク

キヤノン BCI-370PGBK 371BK 371C 371M 371Y 371GY
BCI-370XLPGBK 371XLBK 371XLC 371XLM 371XLY 371XLYG

対応プリンタ

PIXUS MG7730 MG7730F MG6930 MG5730

セット内容 (数量はパッケージをご覧ください)

①インクボトル



インク面の高さについて

ボトルのインク液面の高さに差がある場合があります。これはボトルの内容積の差によるもので、インクの量はパッケージに表示してある容量が充填されています。



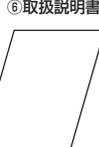
②ボール栓落とし工具



③シリコンプラグ



④詰め替えホルダー



インク成分

- ・ブラック (顔料) … [蒸留水] 50~60%・[グリコール] 20~30%・[その他顔料] 10~30%
- ・ブラック … [蒸留水] 70~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど] 1~10%・[染料] 1~15%
- ・シアン … [蒸留水] 70~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど] 1~10%・[染料] 1~15%
- ・マゼンタ … [蒸留水] 60~70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど] 1~15%・[染料] 15~25%
- ・イエロー … [蒸留水] 70~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど] 1~10%・[染料] 1~15%
- ・グレー … [蒸留水] 70~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど] 1~10%・[染料] 1~10%

○注意事項

- 詰め替えをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全な詰め替えや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
- 他社製詰め替えインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクに詰め替えて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポートとびびいかなる責任も負いません。
- BCI-370PGBK、BCI-371シリーズのICチップ付きインクタンクは、インクを詰め替えてもチップエラーなどが発生した場合は使用ができなくなります。詰め替えたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、製品補償などの責はご容赦くださるようお願いいたします。

○使用上の注意と保管について

- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。
- 詰め替えた後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

○製品について

- 本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
- 本製品はキヤノン(株)とは無関係で、承認を受けたものではありません。
- 製品上の原因による品質不具合が認められた場合は、同数の新しい製品と取替いたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いいたします。

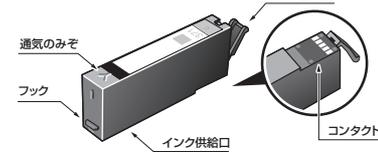
各部の名称

インクタンク

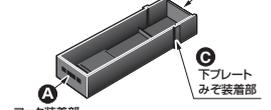
●BCI-370PGBK/370XLPGBK



●BCI-371シリーズ



詰め替えホルダー



ホルダーは詰め替え作業とインクタンクの一時的な保管用としてお使いいただけます。保管については「ホルダーを保管用として使う方法」とお願いを参照してください。

ボール栓落とし工具



詰め替えの前に必ずお読みください

次のキヤノンプリンタでインクを詰め替えてご使用になる時の注意
PIXUS MG7730 MG7730F MG6930 MG5730

上記のBCI-370PGBKおよびBCI-371インクタンク専用プリンタで詰め替えインクタンクを使って印刷するには、プリンタの「インク残量検知機能を無効にする」という操作が必要です。本取扱説明書の詰め替え手順のあとの「印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作」を参考に行えばインク残量は表示されませんが、印刷は通常通り行えます。

- ※この操作による表示解除は詰め替えて使用したインクタンクだけであり、新品インクタンクを取付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。
- ※インクを詰め替えたインクタンクやそれを使用したプリンタは、メーカーによっては不正改造にあたりとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不具合、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
- ※インクタンクのICチップ面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

準備

詰め替えの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。



使用するインクタンク

純正インクタンクに詰め替えてください。以下のものは対応していませんので、使用しないでください。

- 再生品インクタンク
- 互換品インクタンク
- 他社詰め替えインク使用品

詰め替え回数 (推奨限度回数)

詰め替えによるインクタンク再使用は3~4回までが適当です。それ以上の詰め替えはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

詰め替え作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

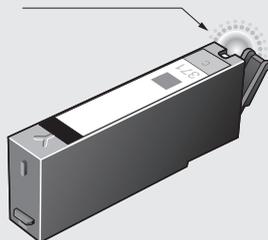
詰め替えのタイミング (インクタンクに初めて詰め替える)

初めてインクタンクに詰め替えをするタイミングは、パソコンや液晶モニタに「インク切れ(X)」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ (赤色) が点滅し、実際にインクがなくなった時に行ってください。

※インク残量表示が「インクが少なくなっています (I)」の場合でも詰め替えられますが、印刷を続けると(X)となります。また、インクの残量が多いとインクが漏れて作業ができない場合があります。

[インクタンクの状態]

インクランプ (赤) が点滅している



[パソコンモニタ]の表示

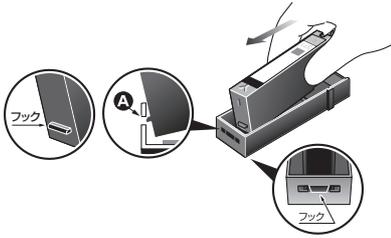


[液晶モニタ]の表示



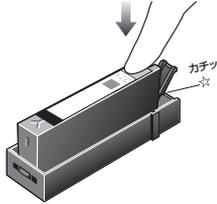
1 インクタンクを詰め替えホルダーに固定する

1. インクタンクの図で示すところにフックがあります。カートリッジ側フックを詰め替えホルダー(セット内容④)のフック装着部に入れます。



注意 BCI-371シリーズは斜めに固定されないようにしてください。

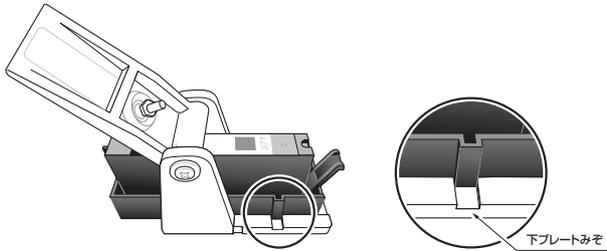
2. インクタンクのQRコード下の370(371)部分を押し、固定用つまみがツメに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。



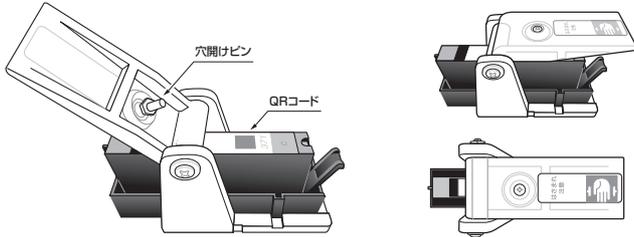
注意 インクタンクが浮いた状態でインクを注入するとインク漏れの原因になります。完全に装着されたことを確認してから注入作業を始めてください。

2 インクタンクのボール栓を落とし、インク注入口を開ける

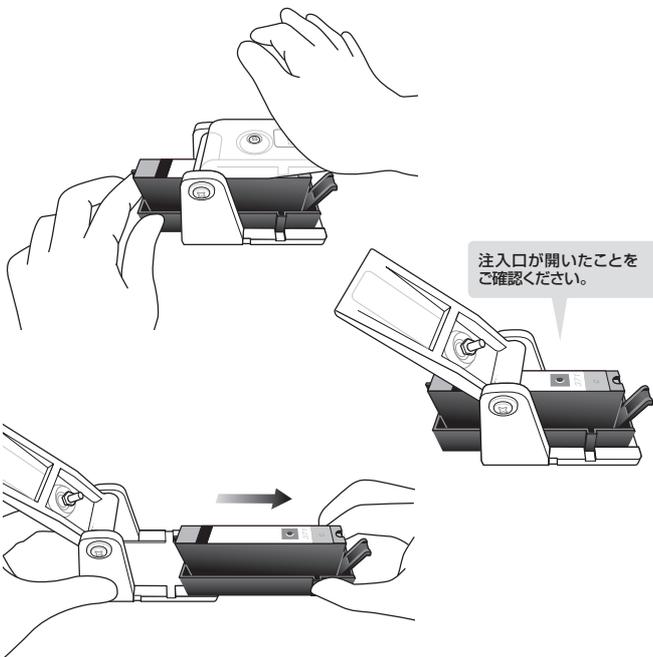
1. ボール栓落とし工具の下プレートみぞに合わせて、詰め替えホルダーを装着します。



2. ボール栓穴開け工具のプレートをおろして、穴開けピンがインクタンクのQRコードの位置に当たっていることを確認します。

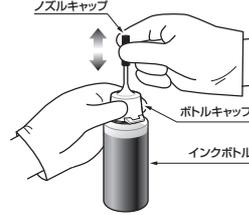


3. 立った状態で、手のひらの手首に近いところで体重を掛けて、プレートを押しします。パチンとボール栓が抜けた音がします。穴が開いたことを確認してボール栓穴開け工具から詰め替えホルダーを外します。



3 インクボトルのゴムキャップを外す

1. 手袋(セット内容⑤)を着用します。インクボトルのキャップを取外したり、閉める際はノズルの根元をしっかり押さえながら、垂直方向に動かしてください。



注意 インクボトル部分は絶対に押さえないでください。インクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを閉める際はノズル先端から1cm程差し込んでください)

4 インクを注入する

1. インクボトルのノズル先を水平より上を持って、注入口にノズル先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくりしほりながらインクを注入します。

注意

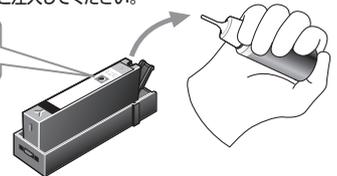
ボトルを強くしほりますとインクが注入口からあふれるので、ゆっくりとしほりながら注入します。

※ノズルの根元に注入口をふさがれないよう、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。すき間を確保せずにインクを入れると空気に押し出されて供給口や通気の溝からインクがもれてきます。また、注入時はもれなくてもホルダーから外した後、インクがあふれる可能性があります。通気の溝からインクがもれてくると、プリンタにセットした時にインクが出ない場合があります。



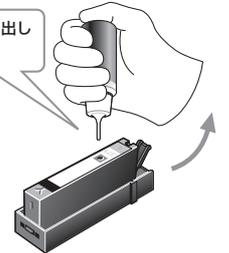
2. インクが注入口からあふれ出たら、一旦注入を止めてインクがスポンジに吸収される時間(約30秒)待って、再度インクをゆっくりと注入してください。

インクがあふれ出したら一旦注入をSTOP



3. インク注入口から再びあふれ出たら、その時点で注入を終了し、ノズルを注入口から引き出してください。

インクが再びあふれ出したら、注入終了



○インクの注入量の目安

BCI-370PGBKの場合 …… 約12ml
BCI-370XLPGBKシリーズの場合 …… 約18ml
BCI-371シリーズの場合 …… 約5ml
BCI-370XLシリーズの場合 …… 約10ml

※上記の注入量はインクを使い切った時の推定量で、お使いの状況や詰め替えをするタイミングにより変わります。

5 注入口にシリコンプラグを差し込む

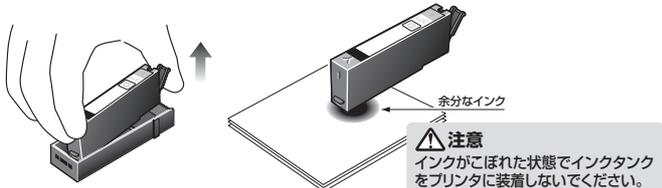
1. 注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のシリコンプラグ(セット内容③)を注入口に差し込み、インクがもれないようにしっかりと栓をします。



注意 上図のように、注入口にシリコンプラグを確実に差し込んでください。インクが供給口から流れ出して止まらない場合があります。

6 インク供給口のキャップを取り、余分なインクを除く

1. インクタンクは固定用のつまみを押しながら上に持ち上げるとホルダーから外れます。ペーパータオルなどの上に10~20秒置いて余分なインクを除いてください。インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。



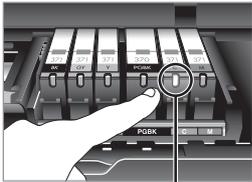
以上で詰め替え完了です。裏面の「詰め替え後について」に進んでください。

詰め替え後について

1 詰め替えたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクをプリンタに取付けると以下の状態になります。

- 1 インクタンクの赤ランプが点滅している。



赤ランプ点滅

- 2 パソコンの画面に(!)または(X)マークを表示。



- 3 プリンタの液晶モニタに(!)または(X)マークを表示。



注意

液晶モニタにエラー番号(1600・1688・1689・1730)が表示されている場合は次の「詰め替え後の印刷続行操作」、「インク残量検知機能を無効にする」の手順で対処してください。エラーが解除され、印刷が可能になります。

※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。

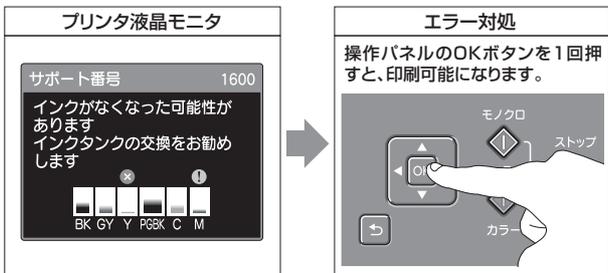
2 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

詰め替えたインクタンクを使用中にエラーが表示されてプリンタが停止します。以下の説明内容に従い、ボタン操作をすれば、エラーが解除され、印刷可能な状態に戻ります。

- ※操作はエラーが現れ、プリンタが停止したときに行います。インクタンクを取付けてすぐにエラー表示されない場合もあります。
- ※インク残量検知機能の無効操作のあとは、残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。
- ※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

詰め替え後の印刷続行操作

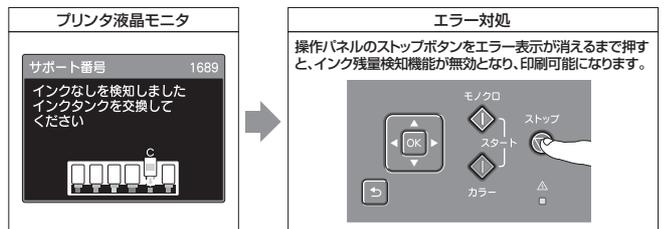
印刷開始後、または印刷中に下記のメッセージが表示される場合があります。その場合は以下の手順に従って操作を行ってください。★表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。



2 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について(続き)

インク残量検知を無効にする

印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。その場合は以下の手順に従って操作を行ってください。★表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。



※サポート番号1688、1730が表示された場合も同様の対処が必要です。

3 クリーニングと印字テスト

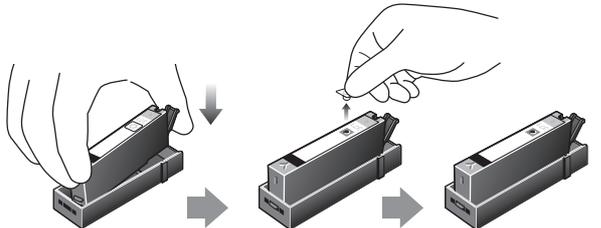
インクタンクをプリンタに取付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字を行ってください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。★クリーニングの繰り返しはインクが消耗されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

詰め替え回数

詰め替えによるカートリッジの再使用は各色3~4回までが適当です。それ以上はインクタンク内のスポンジの劣化などによりインクの供給に不具合が生じ、正常に印字ができなくなる場合があります。その際は、詰め替えたインクタンクの使用を止めて、新しいインクタンクを使うことをおすすめします。

2回目からは

インクタンクを詰め替えホルダーに取付けて、シリコンプラグを外してから③~⑥の手順で詰め替えを行ってください。



手順③へ

詰め替えが終わったら

- 詰め替えた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。
- ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分を拭き取ってからパッケージに保管してください。

ホルダーを保管用として使う方法とお願い

<お願い>
長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクをお使いになり、印刷できるか確認することをお勧めします。

<保管方法>

インクタンクをホルダーに取付けます。(詰め替え手順①参照)さらに通気の溝に接着テープを貼付けて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますのでご注意ください。

トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しは詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
以下の状態のインクタンクで詰め替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。

- 1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社詰め替えインクと混合、併用などしている場合。(純正新品使用後のインクタンク対応です)
- 2.詰め替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。
- 3.他社詰め替えインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。
- 4.インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、詰め替え不能なインクタンク。

	症状	確認事項	処置
インクタンクのインクランプ(赤色)について	インクタンクを取付け後、点滅し点灯しない。	詰め替え後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インクが入っていても記録が復元できません。ランプは点灯ではなく点滅します。
インク残量表示について	インクを注入したが、残量表示が満タンに戻らない。	インク残量表示は復元されません。	インクタンクの特性上、インクが入っていてもインク残量の記録が復帰されず、詰め替え前と同じ表示になります。(詰め替え後について②印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法についての項を参照)
詰め替え後	詰め替え後、プリンタが動かない。	プリンタの液晶モニタにサポート番号1600・1688・1689・1730が表示されている。	詰め替え後について②印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法についての項をご確認ください。
		プリンタの液晶モニタにサポート番号1410～1415が表示されている。	インクタンクのICチップエラーなどによる認識エラーです。インクを詰め替えたこととは関係がありません。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。
		上記以外のサポート番号が表示されている。	詰め替えたことによるエラーではありません。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。
詰め替え作業中	注入中インクが漏れてくる。	他社の詰め替えを先に行っていないですか。	他社の詰め替えインクには対応していません。詰め替え方法や治具の形状が違いますので、回復できない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品から詰め替えて、本書に記載されていること以外は行わないでください。
		詰め替えホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか。(浮いたり傾いたりしていませんか。)インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れているとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
		インクの入れ過ぎではないですか。	余分なインクが残っているのか入れ過ぎの可能性があります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
		シリコンプラグの差し込み方を確認してください。	シリコンプラグの差し込み方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、差し込み直してください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。(TEL:0120-968-268)	
印刷の時	詰め替えた色のインクが出ない。印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	詰め替え回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。	推奨限度は3～4回までです。詰め替え回数が増えるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいインクタンクへの交換をお勧めします。
		純正品以外のインクタンクを使用していませんか。	再生インクタンク、互換インクタンクには対応していません。これらのインクタンクへの詰め替えはインク成分が異なるため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクに詰め替えてください。
		他社の詰め替えを先に行っていないですか。	他社の詰め替えインクには対応していません。混合した場合、インク成分が異なるためインク漏れや印字不良となり、かすれや出なくなる恐れがあります。
		インクが漏れていませんか。	インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。プラグの差し込み方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれ確認と修正をしてください。
	色合いがおかしい。	インク不足ではありませんか。	再度インク注入を行ってください。
		色合いがおかしい。	ノズルチェック印刷をしてください。全部のインクが出ているか確認してください。出ていないインクの色があると、色合いが変わります。上記の「詰め替えた色のインクが出ない」項目を確認してください。インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		インクの入れ違いはありませんか。	入れ違いは、印刷不良や思わぬ事故の原因となりますので、ご使用をやめて、新しいインクタンクと交換してください。
		他社の詰め替えを先に行っていないですか。	他社の詰め替えインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		用紙のインクが乾いていますか。	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか。	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。(TEL:0120-968-268)			
ホルダー	ホルダーに付けていたらインクが漏れてきた。	詰め替えホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか。(浮いたり傾いたりしていませんか。)インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れているとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	長い間保管していたらインクが漏れてきた。	長期間の保管用ではありません。	インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

サンワサプライ
つめかえインクサポートセンター

tel:0120-968-268

受付時間：月～金(土・日・祝日をのぞく)
9:00～12:00 13:00～17:00

inksupport@sanwa.co.jp

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますようお願いいたします。

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

岡山 サプライセンター 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL:086-223-3311
東京 サプライセンター 東京都品川区南大井6-5-8 TEL:03-5763-0011
<http://www.sanwa.co.jp/>

BF/BC/KSDaki